

令和2年度事業報告書

社会福祉法人 松野町社会福祉協議会

目次

I 社会福祉事業

1	法人運営事業.....	- 1 -
2	地域福祉推進事業.....	- 4 -
2-1	地域福祉推進事業.....	- 4 -
2-2	福祉相談・援助活動.....	- 7 -
2-3	共同募金運動等の推進.....	- 9 -
2-4	福祉団体事務.....	- 10 -
3	在宅福祉サービスの推進.....	- 12 -
3-1	居宅介護支援事業.....	- 13 -
3-2	訪問介護事業.....	- 14 -
3-3	訪問入浴事業.....	- 14 -
3-4	身体障害者居宅介護事業.....	- 15 -
4	まごころ銀行運営事業.....	- 15 -

1 法人運営事業 (総事業費 22,605,192 円)

(1) 本会の支援基盤及び財政基盤を強化し健全な運営を図るため、会員の募集を行った。

会員募集結果	一般会員	1,098,000 円	(1,098 件)
	特別会員	57,000 円	(19 件)
	合 計	1,155,000 円	

(2) 理事会、評議員会の開催

○理事会 (4 回)

令和 2 年 6 月 4 日 書面による同意 理事 11 名 監事 2 名
(報告) 会長の職務執行状況について
評議員補欠選任候補者の推薦について
令和元年度事業報告の承認について
令和元年度決算の承認について
令和 2 年度資金収支第 1 次補正予算 (案) について
評議員会の開催予定について

令和 2 年 6 月 22 日 書面による同意 理事 11 名 監事 2 名
理事補欠選任候補者の推薦について
評議員会の開催予定について

令和 2 年 9 月 16 日 出席者 理事 11 名 (欠席 1 名) 監事 2 名
(報告) 理事の選任結果について
訪問介護事業における今後の事業運営について
評議員会の開催予定について

令和 3 年 3 月 16 日 出席者 理事 10 名 (欠席 2 名) 監事 2 名
(報告) 会長の職務執行状況について
評議員補欠選任候補者の推薦について
令和 2 年度資金収支第 2 次補正予算 (案) について
臨時・嘱託職員就業規則の改正について
嘱託職員賃金規程の改正について
評議員選任・解任委員会運営規程の改正について
訪問介護事業等の休止・廃止に伴う取り組みについて (案)
令和 3 年度事業計画 (案) について
令和 3 年度資金収支予算 (案) について
役員等賠償補償保険の加入について
評議員会の開催予定について
その他 まごころ銀行公募事業について

理事の任期満了に伴う一斉改選について

○評議員会（3回）

令和2年6月29日 書面による同意 評議員 25名

理事の補欠選任について

令和元年度事業報告の承認について

令和元年度決算の承認について

令和2年度第資金収支1次補正予算（案）の承認について

令和2年9月23日 出席者 評議員 21名 欠席4名

訪問介護事業における今後の事業運営について

令和3年3月29日 出席者 評議員 21名 欠席4名

（報告）評議員の補欠選任について

令和2年度資金収支第2次補正予算（案）の承認について

訪問介護事業等の休止・廃止に伴う取り組みについて（案）

令和3年度事業計画（案）の承認について

令和3年度資金収支予算（案）の承認について

その他 まごころ銀行公募事業について

評議員の任期満了に伴う一斉改選について

(3) 評議員選任・解任委員会の開催（2回）

○評議員選任・解任委員会

令和2年6月15日 出席者 選任・解任委員 5名 会長、事務局 2名

評議員の補欠選任について

令和3年3月22日 出席者 選任・解任委員 5名 会長、事務局 1名

評議員の補欠選任について

(4) 監査の実施状況

令和3年5月19日 （令和2年度監査）監事 2名、会長、職員 2名

令和3年5月21日 （監査講評）監事 2名、会長、副会長、職員 2名

(5) 労務管理・職員数の状況

区分	法人全体				単位:人
	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和2年4月1日	11	2	0	2	15
令和3年3月31日	8	1	0	1	10
増 減	△ 3	△ 1	0	△ 1	△ 5

法人運営・地域福祉推進事業

単位:人

区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和2年4月1日	4	1		1	6
令和3年3月31日	4	1	0	1	6
増 減	0	0	0	0	0

在宅福祉サービス事業

単位:人

区分	正規職員	嘱託	臨時	パート	合計
令和2年4月1日	7	1	0	1	9
令和3年3月31日	4	0	0	0	4
増 減	△ 3	△ 1	0	△ 1	△ 5

(6) 社協内部門間、近隣社協との連携強化

幹部職員会：13回 介護保険事業運営推進会議：5回
 職員研修会：1回 災害対応マニュアル、BCP計画の共有
 3町（鬼北、愛南、松野）社協意見交換会：中止（感染症予防）
 3社協連携研修（砥部、愛南、松野）：4回（内web3回）

(7) 各種大会の開催

①松野町敬老式の開催

本年度の松野町及び松野町中央公民館との三者共催による松野町敬老式は新型コロナウイルス感染症の影響により式典は中止とし、長寿の祝い歳の方々（数え77歳、80歳、88歳、90歳、99歳、100歳）に、記念品を行政職員がご自宅へ訪問し贈呈した。また記念品の見直しを行った。

記念品等費用：806,328 円

主な内容

U-CAT：町長のお祝いのメッセージ

虹の森保育園によるアトラクション

記念品の贈呈

祝い歳該当者数

単位:人

祝い歳	生まれ年	合計
喜寿(数え77歳)	昭和19年生まれ	69
傘寿(数え80歳)	昭和16年生まれ	56
米寿(数え88歳)	昭和8年生まれ	54
卒寿(数え90歳)	昭和6年生まれ	39
白寿(数え99歳)	大正11年生れ	8
百賀(数え100歳)	大正10年生れ	6
合 計		232

②福祉のつどいの開催

コロナウイルス感染症の影響により未実施。

③松野町戦没者追悼式の実施

本年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、関係機関と協議の上、中止を決定し、延野々地区主催による戦没者追悼行事に参加した。

参加者 約 20 名（松野町遺族会 5 名）

令和 3 年 3 月 20 日開催 費用：12,890 円（献花、記念品代等）

④少年の日を祝う会への助成

松野中学校と相談し、中学 2 年生を対象に記念品等を贈り、その開催を支援した。（少年式は授業時間数の確保等のため、平成 16 年度に開催形式を変更し「少年の日を祝う会」とし、中学校単独実施となっている。）

助成費用 43,946 円（記念品代、会場設営費等）

2 地域福祉推進事業（総事業費 17,147,591 円）

2-1 地域福祉推進事業

(1) 第 1 期松野町地域福祉活動計画の推進

「いまある支え合いを大切に自分たちでまちづくり」を基本理念に、平成 29 年度から令和 3 年度を活動期間とする地域福祉活動計画の 4 年目にあたり、周知、広報に重点的に取り組むと共に、各地区の活動の支援を行った。

コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、例年のような 10 地区全体での集合開催ではなく、地区ごとに開催した。また、松野中学校と協働で、中学生の視点からの福祉のまちづくりについて地区の推進委員と意見交換をした。

地区福祉活動計画推進委員会の開催 1 回/各地区

事業費 地域福祉活動計画推進助成金 15,000 円×10 地区＝150,000 円

(2) ボランティアグループの支援

松野町福祉ボランティアグループと協働して、見守り型給食サービスの実施、通学路の清掃活動、子育て世帯への支援活動、広報誌の音訳、読み聞かせ等のボランティア活動を支援した。

また、日赤奉仕団のボランティア活動を支援した。

○福祉ボランティアグループ総会の開催

令和 2 年 5 月 15 日 書面による同意

○給食サービス（月 2 回） 計 24 回

コロナウイルス感染症拡大予防に配慮し、町内商店の弁当を届けたり、社協職員が生活状況や困りごとの聞き取りを行い、生活支援のボランティア活

動につなげた。

利用者（見守りが必要な一人暮らしの高齢者等、高齢夫婦世帯等）

11名～18名（入院等による月変動有り）

○朗読ボランティア活動（朗読ボランティアグループによる自主的活動）

広報まつの等を年12回録音しテープを貸出した。

利用者 1名

読み聞かせの実施（学童保育1回、西小学校1回、東小学校1回）

○通学路清掃活動（日赤奉仕団と協働）

西小校区1回、東小校区1回

○衛生管理講習（石けんづくり）

コロナウイルス感染症予防対策として手洗いの重要性啓発のため、ボランティアへの講習を実施し、石けんを作り、町内高齢者へ配布した。

○七夕飾りボランティア活動（日赤奉仕団と協働）

コロナウイルス感染症の影響で地域行事が縮小等するなか、地域を元気にするために七夕飾りを作り、JR松丸駅・診療所・森の国ふれあいセンター等に飾ってもらい、地域の方に短冊を書いてもらった。

○ハロウィンイベントの開催（日赤奉仕団と協働）

コロナウイルス感染症予防対策を取り、遊びを通して世代間のつながりを深め、孤立を防ぎ安心感につなげることを目的に実施した。

開催：令和2年11月1日 来場者：60名の親子

○ボランティア活動保険への加入

誰もが安心してボランティア活動に参加できるよう、社協を拠点とした福祉ボランティア活動者全員に対応できる保険に加入した。

加入者数 60名 21,000円（一人350円）

○日赤奉仕団の支援

・総会の開催 書面による同意 令和2年5月15日

・赤十字ぬくもり子育て広場の開催 令和2年11月10日

内容 子どもの薬について、幼児安全法

講師 松山赤十字病院・日本赤十字社愛媛県支部

子育て支援グループ「つくしんぼ」親子11組

奉仕団参加2名

・赤十字防災セミナー参加

令和2年10月3日 オンライン開催

奉仕団参加2名

内容：感染症から身を守るために避難生活で気をつけること等、災害への備えについて受講した。

・通学路清掃活動

・七夕飾りボランティア活動

・ハロウィンイベント開催

(3) ボランティア活動推進

- ボランティア活動の場を広げるため、戸別訪問等による困りごとを解決するためにボランティアと相談し、活動へとつなげた。
- 主体的な活動となるよう、ボランティアとの意見交換を行った。
- ボランティア活動の質の向上のため、講習会等の情報提供を行った。

(4) ふれあい郵便の実施

一人暮らしの高齢者並びに介護保険利用者へハガキを年 2 回程度郵送し、安否確認を行い、地域の見守り活動を推進した。また、生活支援体制整備事業と連携し、新型コロナウイルス感染症による生活や健康状態の変化、心配ごと等を調査した。

ふれあい郵便配達数	年賀状	327 名	
	調査	259 名	合計 586 名

(5) 生きがい活動支援通所事業の実施

在宅で生活する 65 歳以上の高齢者を対象に、班ごとに月 1 回程度の寄り合いを持ち、要介護状態への予防を図れるよう、自立的生活と生きがいや社会参加を促進できるよう、健康講座や趣味の創作活動を支援した。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止・開催時間を短縮する対応をとったが、中止期間中は個別に電話で体調等の聞き取りや訪問を行ったり、脳トレや体操のプリントを郵送した。

スタッフ 職員 3 名

(正規職員 1 名、嘱託職員 1 名、パート職員 1 名)

地区 6 班 (松丸 目黒上、目黒下、西の川 吉野 1、吉野 2)

利用者 53 名

参加費 1 回 100 円 事務費等

(6) ふれあい・いきいきサロンの拡充

○ 地域で孤立する人をなくすため、高齢者や障害者、子育て中の親子などが、気軽に集い、地域の人々とのふれあいの場として、また情報交換の拠点として、楽しく参加しやすい活動を地域住民が運営できるよう支援し、心身の健康を保ち、生きがいづくりを推進した。新型コロナウイルス感染症の影響で集まって開催しづらかったが、参加者同士で安否確認をし合い、つながりを絶やさない活動を支援した。

グループ名	実施回数	参加者
萩の会 (延野々五郎丸)	12 回	12 名
脱線グループ (豊岡後)	11 回	7 名
なでしこ (豊岡前)	10 回	18 名
あじさい (富岡地吉)	11 回	10 名

ミナクル会(富岡古市場)	12回	6名
パワーズ(吉野)	44回	10名
コスモスの会(蕨生)	10回	13名
にこにこ会(蕨生谷口)	10回	7名
陽だまり会(蕨生奥内)	12回	9名
むくの会(奥野川)	11回	18名

(7) 生活支援体制整備事業(町受託事業) 事業費: 2,465,568円

介護保険事業の地域支援事業における生活支援体制整備事業生活支援コーディネーター業務を、平成28年8月から松野町との契約により実施。

- ・生活支援サービス協議体 会議2回開催
- ・地域食堂運営支援(吉野地区)
 - 令和2年11月29日開催 参加者 30名
- ・生活や健康状態の調査実施 70歳以上独居高齢者対象259名
 - 調査結果は、社協日より154号にて報告した。また、困りごと解決に向けた体制づくりにつなげる予定である。

(8) 福祉教育への取り組み

ふだんの暮らしをしあわせにするという視点で福祉を身近に感じ、みんなと一緒に幸せに暮らしていくために必要なことや出来ることを考えるきっかけづくりとして、学校との協働で福祉教育に取り組んだ。

○ 福祉教育の実施 松野中学校2年生

中学2年生が考える地域福祉活動計画を策定するため、富岡・蕨生地区の推進委員会に参加し、意見交換を行った。この意見交換を通して、地区の課題を解決するための防災講座や、シトラスリボン作りによる感染者への差別偏見をなくすための推進委員との交流会を中学生が企画し行った。

2-2 福祉相談・援助活動

(1) 心配ごと相談所事業の実施(町受託事業) 事業費: 84,000円

○相談員(民生児童委員18名)を中心に、毎月1回保健センター等において心配ごと相談所を開設し、あらゆる悩みごとが気軽に相談できるよう、相談支援活動に努めた。

相談件数 3件 [墓石の撤去・農地の貸付・相続相談]

○総合的な相談支援活動として、年2回弁護士による専門的立場からの指導並びに助言を仰いだ。

相談件数 5件 [縁組解消・消費者相談・土地の名義変更・借金返済相談・子の婚姻と相続相談]

- (2) 福祉サービス利用援助事業の実施（県社協受託事業） 受託金：310,000 円
認知症や障害者など判断能力に不安があったり、不十分な方が、できる限り地域で安心して、自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用にあたり、本人との契約により下記の援助を行った。

- ・福祉サービスの利用契約における援助
 - ・情報提供、相談、助言
 - ・日常的金銭管理、書類等預かりサービス
- 利用者 5 名 相談件数 347 件（280 件）

生活支援員 1 名

利用料 8,000 円（1 回 1 時間程度 単価 1,000 円 生活保護者は無料）

- (3) 法人成年後見人の実施

平成 26 年 11 月の家庭裁判所審判（松野町長申立てによる家裁審判）により、1 件（認知症高齢者）の成年後見人として、家庭裁判所等と相談しながら、被後見人の財産管理や身上監護（生活・医療・介護等に関する契約や手続き）を含めた生活支援と被後見人死亡の手続きを行った。

後見報酬 174,000 円

- (4) 生活困窮者自立支援事業（県受託事業） 受託金：4,000,000 円
家計改善支援事業（県受託事業） 受託金：2,100,000 円

愛媛県からの受託により、「くらしの相談支援室」を開設し、生活困窮者が抱える多様で複合的な課題の解決に向け、総合的な相談を受け付け、関係機関との連携により、情報提供や必要な支援を行うと共に、プランの作成を行い、一体的、かつ計画的な支援に努めた。

また、家計の収支の均衡がとれていないなど、家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じる家計改善支援事業も併せて実施した。

- ・新規相談受付件数 21 件（7 件）
- ・プラン作成件数 3 件（3 件）
- ・一般就労者数 1 件（1 件）
- ・支援調整会議の開催 1 回（1 件）

- (5) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託事業）

（愛媛県社協の委託事業 受託費 177,520 円、相談体制整備 523,900 円）

低所得世帯等を対象とした貸付金制度である生活福祉資金において、民生児童委員の協力により相談受付及び貸付事務を行うとともに、償還事務を実施した。

（新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた特例貸付事務委託金 397,190 円）

新型コロナウイルス感染症の発生による休業や失業により、一時的又は継続的に収入が減少した世帯を対象として、特例貸付を行った。

資金別貸付状況表（令和2年度）					
	緊急小口	教育資金	コロナ特例	合計	備考
貸付件数	2件	1件	31件	34件（5件）	
貸付金額	170,000円	3,120,000円	10,550,000円	13,840,000円	

相談件数 92件（55件）

(6) 小口資金貸付事業

緊急または不時の出費を要する場合に、生活困窮者の自立を支援するため、民生委員と連携して相談支援及び小口資金の貸付けを行った。

- ・令和2年度貸付件数 11件（10件）
- ・令和2年度末貸付高 324,000円
- ・預金額 12,000円
- ・原資 336,000円

2-3 共同募金運動等の推進

(1) 共同募金運動の推進

本年度募金目標額 731,000円を設定、各部落区長、組長、民生児童委員協議会、各種団体と住民の皆様の理解と協力により、下記の実績をおさめることが出来た。

共同募金目標額	731,000円
共同募金実績額	745,010円
目標達成率	101.9%

(2) 共同募金配分金事業（元年度募金による2年度配分事業充当）の実施

総事業費 1,397,420円

① 一般募金配分金事業費：428,004円

(ア) 地域活動支援

○ふれあい・いきいきサロンへの助成

サロン活動助成金 200,000円（10グループ）

○目黒地区の生活支援組織「にこにこ会」の活動を支援

傷害保険料 5,375円

○地域食堂支援、災害時に使用する備品、介護予防のための備品整備、子育て世帯へのイベント運営費用

費用 119,529円

○中学卒業記念品の図書カードを通して学習支援（卒業生 35名）

費用 52,500 円

○町内の集会所に設置されている遊具を専門業者に依頼し一斉点検を行い、児童の健全育成の支援を行った。

点検箇所 10 箇所

(礁崎児童公園、向井公園、向井集会所公園、延野々集会所公園、隣保館公園、豊岡後集会所公園、豊岡前住宅集会所公園、梁瀬集会所公園、伊井公園、逆杖公園)

調査費 50,600 円

・共同募金の健全・有効活用のため、遊具設置地区区長・町内小学校・保育園へ遊具等の使用状況について調査し、遊具設置地区区長・役場担当課と維持管理等について検討中。

② 歳末たすけあい運動の実施 事業費：299,000 円

令和 2 年度においても「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに、歳末たすけあい運動を各部落区長・組長の支援を受けて実施した。この運動に対し、住民の皆様の温かい協力により、299,000 円の善意が寄せられ、全ての義援金を福祉施設入所者 22 名と、町内在住者 167 名へ贈った。

なお、町内在住者の義援金配布においては、地区担当民生委員の協力により、見守りを兼ねて実施した。

(3) 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」配分金事業

事業費：660,000 円

○ 災害用資材を整備することにより、感染症対策に留意したボランティアの受け入れやボランティアセンター運営ができるよう備えをした。

備品費：660,000 円

(4) 日本赤十字社 活動資金募金

本年度日赤県支部よりの割当て目標額 559,000 円を設定、活動資金募金運動を展開した結果、住民の皆様の理解と各部落の区長、組長の協力により、下記の実績をおさめることが出来た。

活動資金募金目標額 559,000 円

活動資金募金実績額 590,200 円

目標達成率 105.6%

2-4 福祉団体事務

(1) 松野町老人クラブ連合会への自立支援

松野町老人クラブ連合会の事務局として、理事会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・理事会 開催回数 2回
- ・総会 書面による同意

② 軽スポーツの普及支援

コロナウイルス感染症拡大防止のため、ペタンク大会・クロッケー大会未実施

③ 単位老人クラブの活動支援

- ・総会の資料作成支援
- ・松丸地区老人クラブ再開支援

(2) 松野町身体障害者福祉協議会への自立支援

松野町身体障害者福祉協議会の事務局として、役員会の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・役員会 開催回数 1回
- ・総会 書面による同意

② 各種大会等の引率

- ・県障害者福祉推進大会 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・中四国身体障害者福祉大会 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止
- ・県身障連市町団体代表者会議
- ・愛媛県障がい者スポーツ大会 コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③ 運営費の助成 26,400円

(3) 松野町遺族会への自立支援

松野町遺族会の事務局として、役員会等の開催、会計処理等を行いその活動を支援した。

① 会議開催の支援

- ・役員会 開催回数 1回

② 延野々地区戦没者追悼行事に参加

③ 運営費の助成 26,400円

(4) 松野町母子寡婦福祉協議会への支援

① 運営費の助成 16,000円

(5) 朗読ボランティアへの支援

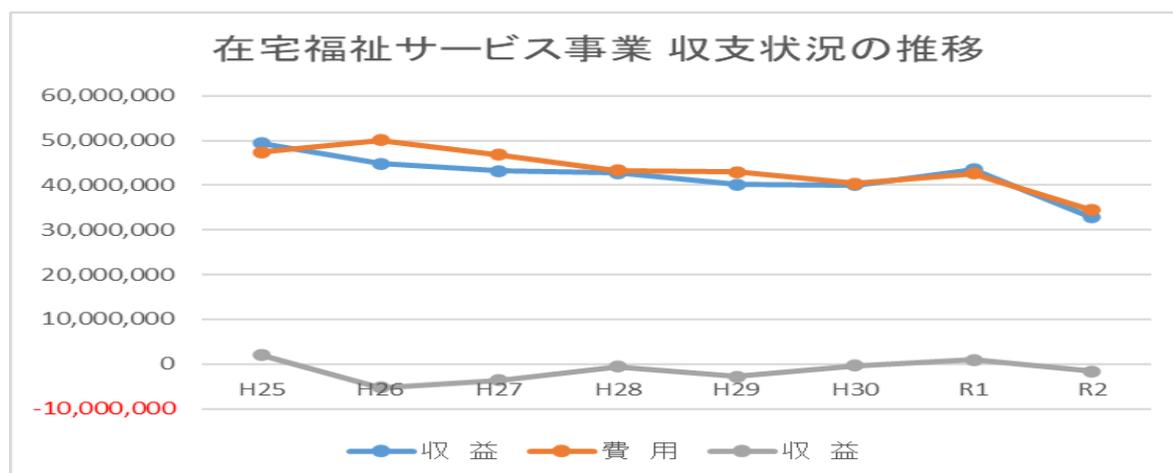
① 運営費の助成 12,000円

3 在宅福祉サービスの推進 (総事業費 34,395,712 円)

町内を対象エリアとした過疎地域における在宅福祉サービス事業は、通所系サービスや施設系サービスが充実する中、非常に厳しい経営環境にあるものの、社会福祉法人の使命として、利用者が必要とする訪問サービスを継続して提供できるよう、サービスの質の向上と収支の改善、体制整備に努めてきた。一方、介護の担い手不足も深刻で、訪問介護、訪問入浴、身体障害者居宅介護の3事業所において、退職者の補充を早急に行う事ができないなど、人員配置基準を満たし、将来にわたり良質で安定して事業を継続して行くことが非常に困難と判断し、利用者の受け入れ先、関係機関との調整をはかり、やむを得ず令和3年1月1日より休止とし、令和3年6月末をもって3事業を廃止することを決定した。

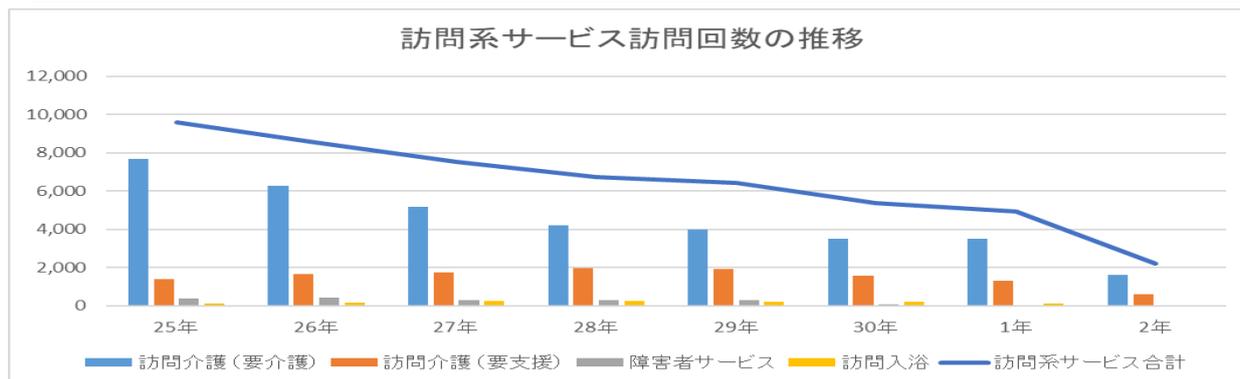
在宅福祉サービス事業収支状況の推移

H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
49,378,661	44,807,215	43,202,131	42,680,631	40,141,213	40,039,960	43,564,284	32,767,592
47,352,434	50,119,200	46,829,505	43,322,522	42,930,733	40,425,539	42,647,967	34,395,712
2,026,227	▲ 5,311,985	▲ 3,627,374	▲ 641,891	▲ 2,789,520	▲ 385,579	916,317	▲ 1,628,120



訪問系サービス訪問回数の推移

年度/サービス内容	25年	26年	27年	28年	29年	30年	1年	2年
訪問介護(要介護)	7,678	6,264	5,196	4,199	3,997	3,511	3,515	1,600
訪問介護(要支援)	1,398	1,676	1,741	1,966	1,922	1,590	1,297	587
障害者サービス	399	415	311	307	273	66	0	0
訪問入浴	137	161	271	268	218	209	128	14
訪問系サービス合計	9,612	8,516	7,519	6,740	6,410	5,376	4,940	2,201



3-1 居宅介護支援事業

指定居宅介護支援事業所として、介護保険利用者の居宅介護支援計画（ケアプラン）の作成やサービス担当者会議の開催（円滑な支援のための事業者と利用者、介護者家族間の連絡調整）、及び訪問相談支援活動を行い、24時間連絡相談体制を整備するなど、利用者が健全で安らかな在宅生活が送れるよう、また、家族の介護負担の軽減が図れるよう努めた。

また、利用者世帯への相談助言活動を通じて、対象世帯の抱える課題を解決するため、地域、施設等をつなぐパイプ役として、地域包括支援センター、医師、理学療法士、保健師、民生委員、本会の地域福祉部門等との連携により、地域福祉の向上に努めた。

当期活動増減差額 4,641,077 円（△1,914,540 円）

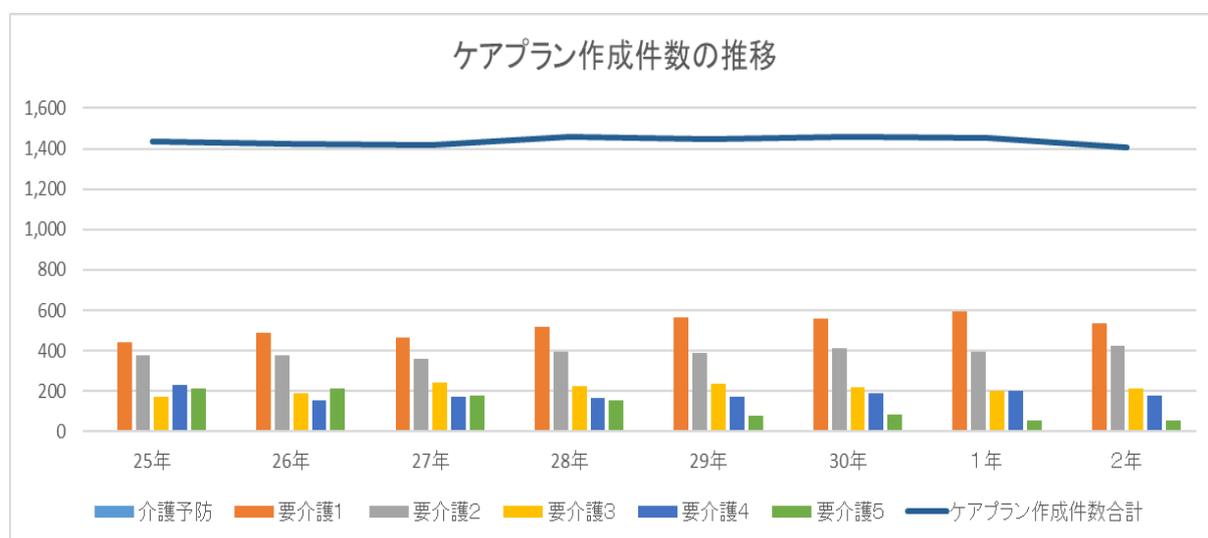
月別ケアプラン作成件数

月/認定区分	支援件数	介護予防	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	R2年度
4月	115	0	46	31	19	15	4	
5月	113	0	43	32	18	15	5	
6月	118	0	48	32	18	15	5	
7月	115	0	47	32	16	16	4	
8月	111	0	40	35	18	15	3	
9月	115	0	43	36	17	15	4	
10月	115	0	41	37	17	15	5	
11月	120	0	47	38	16	14	5	
12月	120	0	47	37	17	14	5	
1月	121	0	45	39	15	15	7	
2月	121	0	43	39	20	15	4	
3月	122	0	44	39	21	14	4	
計	1,406	0	534	427	212	178	55	

住宅改修支援 9 件
福祉用具購入支援 11 件

ケアプラン作成件数の年度推移

年度/認定区分	25年	26年	27年	28年	29年	30年	1年	2年
介護予防	1	0	1	0	0	0	0	0
要介護1	440	490	464	519	567	558	597	534
要介護2	375	375	359	396	392	411	396	427
要介護3	172	191	242	225	237	219	203	212
要介護4	230	157	172	169	172	191	201	178
要介護5	215	213	181	152	80	82	54	55
ケアプラン作成件数合計	1,433	1,426	1,419	1,461	1,448	1,461	1,451	1,406



3-2 訪問介護事業

平成 12 年 4 月から開始された介護保険制度に対応し、指定訪問介護事業所として、24 時間連絡相談体制を整備のうえ、生活援助や身体介護を行い、利用者の日常生活動作の改善や、生活の質を高める介護に努めてきた。

その間、町内及び近隣において介護施設が順次開設・拡大し多様な介護サービスが提供されるに伴い、訪問介護サービスの利用者が年々減少し、平成 21 年頃から毎年大幅な赤字状態が続いていた。事業所の認可を受けるには最低 3 名の資格を有したスタッフも必要であるが、介護の担い手不足は深刻で、退職に伴う人員の補充が早急にできないなど、人員体制の確保が困難となり、厳しい経営環境などを踏まえ、将来的に事業を継続することが非常に困難と判断し、やむを得ず 10 月末までに利用者（28 名）の受け入れ先の調整を行い、令和 3 年 1 月より事業を休止とした。

当期活動増減差額 △4,380,117 円（△1,136,230 円）

訪問介護事業の利用状況（訪問回数）

要支援者 訪問回数

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	15	13	13	15	15	13	13	0	0				97
回数合計	90	74	83	100	90	74	76	0	0				587

要介護者 訪問回数

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	21	20	20	16	15	15	15	0	0				122
身体	100	96	87	66	77	81	78	0	0				585
複合	13	12	17	17	12	13	10	0	0				94
生活	154	142	143	122	112	129	119	0	0				921
回数合計	267	250	247	205	201	223	207	0	0				1,600

3-3 訪問入浴事業

平成 12 年 4 月から訪問入浴事業所として、入浴設備を装備した移動入浴車を使用し、看護師 1 名、ヘルパー 2 名体制で在宅入浴を行い、主に寝たきり等の方の機能回復や清潔を保ち、在宅福祉の向上に努めてきた。近年デイサービスの普及等で利用者の減少が続いており、令和 2 年 7 月を最後に利用者がゼロとなり、令和 3 年 1 月より事業を休止とした。

当期活動増減差額 △1,889,080 円（506,333 円）

訪問入浴事業の利用状況

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	1	1	1	0	0	0	0	0				4
回数合計	4	4	5	1	0	0	0	0	0				14

3-4 身体障害者居宅介護事業

平成 18 年 4 月から指定障害者居宅介護事業所として、身体障害者が在宅で日常生活を営むことができるよう、ホームヘルパー（訪問介護のスタッフと兼務）を派遣し、身体介護や家事援助等を行い、自立的生活を支援してきましたが、平成 30 年 11 月のサービスを最後に利用者がいないという現状であり、令和 3 年 1 月より事業を休止した。

4 まごころ銀行運営事業（総事業費 600,000 円）

町民の方の善意の寄付金を受付管理し、みなさまの善意の橋渡しとして、町内公募による団体活動の支援や社協活動に活用し、その健全な管理運営に努めた。

令和 2 年度 寄付金 1,260,000 円 42 件
寄付金総額（前年度末総額） 24,825,302 円（24,163,407 円）
（661,895 円増 対前年度比）

寄付申込書における使途希望状況

使途目的	金額	件数	割合(金額比)	割合(件数比)
地域福祉事業のために使ってください	400,000円	10	32%	24%
介護保険事業のために使ってください	40,000円	2	3%	5%
法人に一任します	820,000円	30	65%	71%
その他	円	0	0%	0%
計	1,260,000円	42	100%	100%

活用状況

- ・令和 2 年度 まごころ銀行助成金交付事業（公募） 申込件数 0 件
- ・生活困窮者自立支援事業 552,000 円
- ・社協介護保険事業 48,000 円